

## ★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 結縁祥治 副委員長 緒方和博  
幹事 小林隆志・鷺崎弘宜 幹事補佐 肥後芳樹

## ★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 飯島 正 副委員長 金田重郎  
幹事 後藤隆彰・青木善貴 幹事補佐 松野 裕・中川博之

日時 7月 9日 (水) 15:00~17:00  
10日 (木) 9:00~17:20  
11日 (金) 9:00~15:10

会場 富良野文化会館 (富良野市弥生町 1-2, 富良野駅より徒歩 15 分. <http://www.city.furano.hokkaido.jp/contents/ePage.asp?CONTENTNO=192>)

### 議題

#### 9日 レビュー・分析

1. コードレビュー時の読み方教示によるレビュー効率の向上 ○應治沙織・上野秀剛 (奈良高専)
2. 第三者によるソフトウェア開発作業評価のための作業記録の保護手法 ○池田祥平・上野秀剛 (奈良高専)
3. ソフトウェア保守の作業時間に影響する要因の分析  
○角田雅照 (奈良先端大/近畿大)・門田暁人・松本健一 (奈良先端大)・押野智樹 (経済調査会)
4. 発見容易性に基づくソフトウェアバグの分析  
○西口絢人・中川尊雄・門田暁人 (奈良先端大)・上野秀剛 (奈良高専)・松本健一 (奈良先端大)

#### 10日午前 タスクスケジューリング・時間制約

KBSE-1. 多様なタスクスケジューリング問題への解集合プログラミングの適用

○小林弘幸・土屋達弘・中川博之・小島英春 (阪大)

KBSE-2. ビジネスプロセスのための時間制約表現 飯島 正 (慶大)

SS-3. 値付きタスクオートマトンに基づくコストを意識した実時間タスクスケジューリング

○結縁祥治・亀井達朗 (名大)

#### PBL・開発プロセス

4. IoT システムを題材とした PBL の導入提案

○細合晋太郎・石田繁巳・亀井靖高・大迫周平 (九大)・井垣 宏 (阪大)・鶴林尚靖・福田 晃 (九大)

5. OSS システムとコミュニティの共進化を理解するための遅延相関分析手法: 多様な遅延パターンへの対応

○山谷陽亮・大平雅雄 (和歌山大)

6. 開発履歴を利用した風林火山モデルに基づく開発者特性の分析

○五田篤志・山崎 尚・玉田春昭 (京都産大)・畑 秀明 (奈良先端大)・角田雅照 (近畿大)・井垣 宏 (阪大)

#### 10日午後 Web・スマートフォン (13:10~)

KBSE-7. GUI ビルダによるスマートフォンアプリケーション向けモデル駆動開発手法

○松井浩司・松浦佐江子 (芝浦工大)

KBSE-8. 擬似マルウェア体験による Android パーミッションと脅威の関係の学習

○加藤 真・松浦佐江子 (芝浦工大)

KBSE-9. ユーザビリティ要求確認を支援する Web プロトタイプ自動生成手法

○紙森翔平・小形真平・海尻賢二 (信州大)

SS-10. UI 機能テストのための HTML 構造パターンの抽出手法の提案と評価 神谷年洋 (公立はこだて未来大)

#### 形式手法・言語

KBSE-11. 反例からの検査式自動生成による不具合原因特定支援

○青木善貴 (日本ユニシス)・松浦佐江子 (芝浦工大)

SS-12. Improving efficiency of pseudo-Boolean solver that uses SAT solver and BDD

○Masahiko Sakai (Nagoya Univ.)・Hidetomo Nabeshima (Univ. of Yamanashi)

SS-13. Malbolge 低級アセンブラにおけるコード配置アドレスの自動決定

○加藤起騎・酒井正彦・坂部俊樹・西田直樹 (名大)

KBSE-14. MathML で書かれた数式に対する検索手法の提案 ○片岡晃久・甲斐 博 (愛媛大)

#### 11日午前 リファクタリング

SS-1. 機能検索結果を利用したプレファクタリング支援 小松田卓也・○林 晋平・佐伯元司 (東工大)

2. 設計抽象化のためのリファクタリングパターン

○艾 迪・鶴林尚靖・李 沛源・李 宇寧・細合晋太郎・亀井靖高 (九大)

3. A Tool for Suggesting Program Elements to Be Changed in Next Edit

○Yang Yujiang (Waseda Univ.)・Kazunori Sakamoto (NII)・Hironori Washizaki・Yoshiaki Fukazawa (Waseda Univ.)

コードクローン・デバッグ

SS-4. 機械学習を用いたコードクローンの危険予測手法 ○今里文香・堀田圭佑・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)

SS-5. ソフトウェア開発におけるコピーアンドペーストによって生じたコード片に対する調査

○大田崇史・井垣 宏・堀田圭佑・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)

6. Java マルチスレッドプログラム向けの拡張ペトリネットを用いた実行の再現を利用したデバッグ支援ツールの試作

○北野翔一郎・片山徹郎 (宮崎大)

11 日午後 テスト (13:10~)

SS-7. On Coverage for State Transition Testing and Model Checker-Based Test Case Generation

○Cassia de Souza Carvalho・Tatsuhiko Tsuchiya (Osaka Univ.)

8. ソースコード生成を利用した結合テスト向けデータベース生成手法の提案

○丹野治門・張 暁晶・生沼守英 (NTT)

SS-9. モデルベーステストにおけるトレーサビリティの確保と活用 ○張 暁晶・丹野治門・生沼守英 (NTT)

10. 動的記号実行によるメソッドの複雑度を考慮したテストケース自動生成

○高松宏樹・佐藤晴彦・小山 聡・栗原正仁 (北大)

◆情報処理学会；ソフトウェア工学研究会連催

☆SS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10 月 高知〔未定〕テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小林隆志 (東工大)

TEL & FAX [03] 5734-3471

E-mail: tkobaya@cs.titech.ac.jp

◎最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sa.cs.titech.ac.jp/sigss/>

☆KBSE 研究会

【問合先】

青木善貴 (日本ユニシス)

E-mail: yoshitaka.aoki@unisys.co.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>